

■■■ 三年間を振り返って ■■■

委員長 村上 和夫

三年間委員長を務めさせていただきましたが、規約により今年限りで退任することになりました。この間、同僚役員の方々および会員の皆様にはあたたかいご支援ご協力を賜りありがとうございました。

私にとりまして何よりもまして幸いでありましたのは、三人の副委員長さんをはじめ、立派な同僚役員の方々に恵まれたことであります。何とか委員長の役を果たしてこられたのも、ひとえにこれらの方々のお陰でありました。心からお礼を申し上げます。

ここで、役員のごことに少しふれてみたいと思います。当連盟のいわゆる執行部役員としては運営委員と幹事とがあります。運営委員は任期を一年とし、再任または重任は可とするが、引き続いて三年を越えることは出来ません。幹事は、運営委員会が必要と認めるときに実務を委嘱し、任期を一年とし、再任または重任は可としております。この制度は大変にうまい制度だと思います。連盟は会員みんなのものでありますから、役員も順繰りみんなやっていこう・・・、この考え方は正しいと思います。しかし、テニス関係のごことに詳しい人や慣れた人が何人かいないと困ることがあるのも事実です。連盟の規約はその辺のごことがたくみに考慮されているように思います。ただ再任する幹事さんは本当にご苦労様です。何かにつけて、ついつい頼り過ぎになり勝ちですが、それにしても、幾らかでも負担を軽くしてあげる工夫や努力が足りなかったのではなかったかと反省している次第です。

多くの方々のご協力ご努力で当連盟は順調に発展しております。特に各種大会等への参加者数の増加は目覚ましいものがあります。今年の最後の大会であった技量別大会では116名におよぶ参加者がありましたが、これは正直言ってちょっとした驚きでした。しかし、考えてみますと、340人という現在の会員数からすれば、この程度の参加人数に驚いたり満足したりしてはいけないのかも知れません。参加者が150人くらいに達するのもそう遠いこと

ではないように思われます。問題はコート確保にあります。当連盟がコート確保に悩まなくてすむようになるのは何時のことなのでしょうか。

私自信はそれ程苦労と思っことはありませんでした（多分、一番楽をさせてもらったのでしょう）が、「東北シルバーテニス交流大会」は、初めての開催ということもあって心配でした。当連盟と県テニス協会のベテラン委員会でもって、実行委員会を作つのは早かったのですが、主催団体をどこにするか、これを決めるまでに相当の時間を費やしてしまいました。東北レベルの大会ですので、私達だけで勝手に決めるわけにはいきまいと思ひ、東北テニス協会、宮城県テニス協会の意見を打診しながら事を進めた訳ですが、協会サイドでもいろいろ意見があった模様で、しばらくは行きつ戻りつといった感じでした。また、何処何処県からどのくらいの選手が参加してくれるのか・・・これも一つの心配でした。昨年、岩手でプレねりんピックが行われた際に、各県の代表的な方々からの賛意は得ておりましたが、それぞれ1～2名程度のご意見をうかがっただけで、申込状況ははっきり解るまでは不安でした。「東北シルバー大会」については、山内さんが詳しく書かれることになっておりますので、私はこの位にとどめたいとおもいます。山内さんには、各県のクラブや協会との連絡、宮城県、仙台市への後援の依頼交渉などで大変ご苦労をかけたことを申し添えておきます。

最後に、当連盟のますますの発展と、会員の皆様のご健勝、ご活躍を祈つてご挨拶いたします。

皆様良い年を迎えられますように。

〓〓〓 目 次 〓〓〓

|                          | 頁 |
|--------------------------|---|
| * 3年間を振り返って 委員長 村上和夫     | 1 |
| * 第11回委員総会 菅野義治          | 2 |
| * 平成3年度事業報告              | 2 |
| * 平成3年度各種大会記録            | 3 |
| * 対いわきVTC親善試合 新藤英雄       | 4 |
| * 定期戦のごこと 女子連 長谷川洋子      | 4 |
| * ねりんピック'91いわて 新藤英雄      | 5 |
| * シーズ「より楽しいテニス」No.8 高橋龍夫 | 5 |
| * 第1回シルバーテニス交流大会 山内 宏    | 7 |
| * 新人・退会員の紹介              | 8 |
| * お知らせ「室内ダブルスを楽しむ会」      | 8 |

## 【平成3年度事業報告】

平成3年度に開催された宮城県壮年テニス連盟行事の一覧です。本年は雨のため3行事が中止となってしまいましたが、来年度の行事参加の参考資料にしていただければ幸いです。

| 月 日     | 事 業 名           | 参加人数 | 会 場      |
|---------|-----------------|------|----------|
| 1/15    | 室内ダブルス大会PART I  | 37   | キリンSC    |
| 2/11    | 室内ダブルス大会PART II | 36   | キリンSC    |
| 4/23    | WEEKDAY交歓会      | 38   | 宮城野原庭球場  |
| 4/29    | 月例会             | 80   | 泉総合運動場   |
| 5/6     | 年齢別ダブルス大会       | 94   | 泉総合運動場   |
| 5/21    | WEEKDAY交歓会      | 37   | 青葉山庭球場   |
| 6/6     | WEEKDAY交歓会      | 49   | 白石市宮庭球場  |
| 6/28    | WEEKDAY交歓会      | 37   | 宮城野原庭球場  |
| 7/21    | 月例会             | 72   | 泉総合運動場   |
| 8/25    | 混合ダブルス大会        | 68   | 泉総合運動場   |
| 8/29    | WEEKDAY交歓会      | 48   | 青葉山庭球場   |
| 9/1     | 月例会             | 34   | 青葉山庭球場   |
| 9/28,29 | 対いわきVTC親善試合     | 16   | グリンピア二本松 |
| 10/16   | WEEKDAY交歓会      | 24   | 青葉山庭球場   |
| 10/27   | 対女子連定期戦         | 24   | 青葉山庭球場   |
| 11/4    | 技量別ダブルス大会       | 110  | 泉総合運動場   |
| 11/14   | WEEKDAY交歓会      | 39   | 泉総合運動場   |
| 12/7    | 懇親会             | 60   | 勾当台会館    |

以上の他、2回の委員総会および8回の運営委員会を開催。  
東北シルバーテニス交流会を主管。

## 第 1 1 回 委 員 総 会

菅野 義治

第11回委員総会は12月7日17:00より勾当台会館会議室で開催されましたので報告いたします。

◆出席者(含委任状\*印)

(クラブ等グループ代表委員) \*飯野雅 \*岡崎幸子  
\*久保寿一 酒井秀章 渋谷陽子 玉置康雄  
安田勇 山本忠  
(運営委員 幹事) 村上和夫委員長 瀬野尾秩  
新藤英雄 小野泰佑 庄司則克 松山真水  
井沢秀雄 菅野義治 酒井倭子 首藤紀子  
大賀延行 高橋龍夫 山内宏

◆議題

(1)村上委員長から、本年度の事業計画が成功裡に実施できた旨の報告が行われた。

(2)諸報告

- ①庶務担当委員から、12月7日現在の会員総数は、男子200名、女子140名、合計340名となった旨報告があった。
- ②会計担当委員から、資料に基づき12月7日現在の収支状況についての説明おこなわれ、概ね予算通りの経過であると報告された。
- ③競技担当委員から、資料(平成3年度事業報告参照)に基づき競技会実施等の報告がなされた。
- ④広報担当委員から、会報12号が12月25日に発

行される予定である旨の報告が行われた。

⑤山内幹事より、今年度初めて開催された「東北シルバーテニス交流大会」に付いての報告がなされた。

(3)協議事項

①平成4年度の運営委員の選出について協議が行われ、規約により、今期で退任する村上委員長、瀬野尾、松山、小野の4氏運営委員を除く他の現運営委員6名は再任とし、新たに福山昌利、本間満雄、高橋重郎、渋谷妙子の4氏が新運営委員に選出された。

②平成4年度の行事計画について協議の結果、ほぼ今年度並の計画案通り実施することとし、会場確保の関係から、日時、開催場所については後日決定することとなった。

③その他。年会費未納者については、従来2年間の未納者は自然退会扱いとしてきたが、会計上、このままでは不都合な事態が多々あるので1年間の未納者も自然退会扱いにしてはどうか、という提案があり、了承された。従って、平成4年度からは、1年以上の会費未納者は自然退会扱いとし、各種案内状の送付はしないことでの了承された。また、この件については、会報にて周知を図ることとなった。

以上

## ▼▲▼ 平成3年度各種大会記録 ▲▼▼

平成3年度に開催された各種テニス大会の記録の一覧表です。会員参加の部に限って結果が掲載されております。会員諸氏の活躍の様子を記録として残す意味で毎年後半の会報に掲載いたします。運営委員会および事務局では極力情報の収集に努めておりますが、収集洩れのケースも多々あることが予想されます。会員諸氏におかれましては、公式戦、非公式戦を問わず、各種テニス大会に参加され、何らかの成果を上げられた場合、あるいは何らかの情報を入手されました場合には、ご面倒でも、事務局までご一報下さるようお願い申し上げます。

| 大会名称                | 主催、期日、会場                   | 種目               | 順位  | 氏名         |
|---------------------|----------------------------|------------------|-----|------------|
| 平成3年度年齢別<br>ダブルス大会  | 宮城県壮年テニス連盟<br>5/6 泉総合運動場   | 女子40歳            | 優勝  | 酒井倭子 渋谷陽子  |
|                     |                            | 女子45歳            | 優勝  | 首藤紀子 玉置雪枝  |
|                     |                            | 女子50歳            | 優勝  | 菅野志津子 坂爪ミヤ |
|                     |                            | 女子60歳            | 優勝  | 菊田絢子 庄子勝子  |
|                     |                            | 男子45歳            | 優勝  | 大賀延行 中島佑   |
|                     |                            | 男子50歳            | 優勝  | 安田勇 池田稔    |
|                     |                            | 男子55歳            | 優勝  | 福山昌利 北島宏   |
|                     |                            | 男子60歳            | 優勝  | 室賀創 久保寿一   |
|                     |                            | 男子65歳            | 優勝  | 瀬野尾 武田満雄   |
| 平成3年度混合<br>ダブルス大会   | 宮城県壮年テニス連盟<br>8/25 泉総合運動場  | A-クラス            | 優勝  | 松村久 小野寺嘉郎  |
|                     |                            | B-クラス            | 優勝  | 有賀吟生 有賀昌子  |
|                     |                            | C-クラス            | 優勝  | 石橋りつ子 武田満雄 |
| 平成3年度技量別<br>ダブルス大会  | 宮城県壮年テニス連盟<br>11/4 泉総合運動場  | A-クラス            | 優勝  | 大賀延行 村上実   |
|                     |                            | B-クラス            | 優勝  | 松村久 五島武雄   |
|                     |                            | C-クラス            | 優勝  | 細谷和子 三瓶章   |
| 宮城県インドア<br>選手権大会    | 宮城県テニス協会<br>1/26～仙台市体育館    | 男子45歳D           | 準優勝 | 高橋龍夫(川緑)   |
| 宮城県春期<br>テニスナメント    | 宮城県テニス協会<br>4/20～宮城野原      | 男子45歳D           | 準優勝 | 高橋正義(本多)   |
|                     |                            | 男子45歳S           | 準優勝 | 高橋龍夫       |
|                     |                            | 男子55歳D           | 優勝  | 中村克宏 山内宏   |
|                     |                            |                  | 準優勝 | 上山弘 村上実    |
| 東北テニスナメント           | 東北テニス協会<br>5/11～泉PTTC      | 男子45歳            | 優勝  | 高橋龍夫       |
| 桑名杯                 | 日本女子テニス連盟宮城支部<br>5/23～宮城野原 |                  | 優勝  | 河野浩子 有賀昌子  |
|                     |                            |                  | 準優勝 | 石井好子(青木)   |
| 宮城県シングル<br>選手権大会    | 宮城県テニス協会<br>6/28～泉PTTC     | 男子45歳            | 準優勝 | 高橋龍夫       |
| 宮城県民<br>体育大会        | 宮城県テニス協会<br>6/21～宮城野原      | 男子45歳D           | 準優勝 | 井沢秀雄 柴田賢蔵  |
| 国体テニス宮城県<br>予選会     | 宮城県テニス協会<br>7/6～宮城野原       | 成年男子II部S         | 準優勝 | 高橋龍夫       |
|                     |                            | D                | 優勝  | 高橋龍夫(川緑)   |
|                     |                            |                  | 準優勝 | 高橋正義(本多)   |
| 市民テニスナメント           | 泉テニス協会<br>7/27～泉総合運動場      | 女子D(B)<br>A-レアンD | 準優勝 | 石橋りつ子(剣持)  |
|                     |                            |                  | 優勝  | 五島武雄 中島佑   |
|                     |                            |                  | 準優勝 | 山本宏 高橋宏郎   |
|                     |                            | 夫婦D              | 準優勝 | 有賀吟生 有賀昌子  |
| 東北A-レアンテニス<br>選手権   | 東北テニス協会<br>8/7～泉PTTC       | 男子50歳S           | 優勝  | 高橋龍夫       |
|                     |                            | 男子50歳D           | 優勝  | 安田勇(加藤)    |
|                     |                            | 男子60歳D           | 優勝  | 中村克宏 神松伊三郎 |
|                     |                            | 男子65歳D           | 優勝  | 久保寿一 室賀創   |
|                     |                            | 女子50歳D           | 優勝  | 斎藤久仁子(辻)   |
| 宮城県テニス選手権           | 宮城県テニス協会<br>9/28～宮城野原      | 男子45歳S           | 準優勝 | 高橋龍夫       |
|                     |                            | 男子45歳D           | 優勝  | 高橋龍夫(川緑)   |
|                     |                            | 男子55歳S           | 優勝  | 村上実        |
|                     |                            |                  | 準優勝 | 館内規之       |
|                     |                            | 男子55歳D           | 優勝  | 小野泰裕 山本忠   |
|                     |                            |                  | 準優勝 | 上山弘 村上実    |
| 家婦連テニス大会            | 宮城県家庭婦人連盟<br>9/17～泉総合運動場   | Aランク             | 優勝  | 河野浩子 有賀昌子  |
| ダンロップナメント<br>東北決勝大会 | 東北テニス協会<br>11/2～泉PTTC      | 壮年D              | 優勝  | 高橋龍夫(川緑)   |

## ★対いわきVTC親善試合★

副委員長 新藤 英雄

今年はいわきVTCの設営で、9月28日(土)29日(日)の両日、「あれが安達太良、あの光るのか阿武隈・・・」で名の売れている岳温泉にあるグリーンピア二本松で行われました。参加者は、当連盟16名(男9女7)、いわき16名(男7女9)合計32名で、コートは3面でありました。28日の午後は、はじめ午前の雨風が少し残っていましたが、いわき側に未着の人もおりましたので、和気あいあいとミックスを楽しみ、各自夫々親交を深めました。16時頃からポツポツ割り当てられた部屋に引き上げ、施設の整った広々とした温泉にゆったりとつかって疲れを癒し、テニスの後の温泉は最高と頷きあったりして、今回のいわきVTCの思いやりに感謝しました。

18時から恒例の交歓会が始まりましたが、今年は、夜のスター(いわき側)が不参加のため、会の空気が例年と大分変わるのではないかと思いましたが、新しいアイディアのジャンケンポンで、手持ちカード5枚の争奪(連盟男性対いわき女性、連盟女性対いわき男性)は大変面白く、早々手持ちカードが0になって、壁にもたれる連盟の男性や、益々意気軒昂の女性がいたりして、会は大いに盛り上がりました。やがて定刻となり、二次会へと転移するわけですが、例年と違い、二次会の方は若い人達に任せて、ご年輩の方々が温泉につきり、悦に入れたことは最高でした。

翌29日は、昨日と違って絶好のテニス日和に恵まれ、連盟の男性1名といわきの女性1名のトレードが行われてから、本番の親善試合がコート3面を手回しよく使って行われました。各コートの激突を見守る両陣営の方々も、戦い終わって固い握手を交わすプレーヤー達にも、益々親交の輪が広がっていったように思われました。勝負は連盟の女子の頑張りもあり、互角であったようです。15時頃、来年仙台での再会を約して、今年度の親善試合は和やかに終了いたしました。

今年の親善試合を振り返って、会場は、温泉地が総ての面で良かったように思われました。最後に28日夜の交歓会時、いわきの安部会長さんの挨拶の中で「・・・仙台のような企画は出来ませんが・・・、第2回東北シネパーテニス交流大会も是非、仙台で企画実施されますようお願い致します。」と言われたことが印象的でした。

### 《《会費納入についてのお願い》》

ごく一部ではありますが、年会費の納入が遅れた\*

## ■定期戦のこと■

女子連選手 長谷川 洋子

その日は朝から雨だったのです。そぼ降るそれはやがて粒が大きくなり、足も早くなり「どうだ、いいテニス日和だろうが。ヒッヒッヒッ。」と言いなから地面に落ちているようで・・・。

毎年一回、まして日曜日の事として我がご亭主殿には前日よりご丁重に上げ奉り、当日は気持ち良く送りだしてくれ、万事その日に向けて巧くことを進めていたのに・・・。

いま暗い空を見上げて待つ女子連のあの方も、壮年軍のあの方も心の中は私と同じみたい。「口惜しい、絶対やりたい」との我々の念力か、雨の中、可能な限りの戦いの開始には異議を唱える人はいなかったのです。(あたりまえか?)

また、若いんだ(?),ペアの人はもっと若いんだしなどと余裕綽綽。ところが対戦相手はまさに壮年、プロ並にシュパッときついストロークを打たれるは、右に左に、前に上にと腕のいい大工さんのようにラケットを使い分けられるはで、こちらはいわば喪粘。かくして、私達の戦いは壮年軍の勝利と相なった訳なのですが、久しぶりの緊迫感と爽快感で負けて悔いなしと言うところだったでしょうか。(やっぱり口惜しいよね)

こんな雨の中で流れたなんてつまらない。年一回なんてつまらない。百戦練磨の方々とお茶飲み、テニスし、いかにすれば勝てるかなどと論じ合い、楽しい時を過ごさせていただけのなら、春期戦、秋期戦と二回あるといいんだなあ。豪華なお弁当とおビールなんかも付けばいいんだなあ。そして軽く壮年軍をいなしたりして・・・。

希望は広がります。闘志も湧きます。「よし、来年も絶対参加していっちょやっつろか。」すっかり晴れた翌日の空を見ながら大阪のおなごは思ったのであります。 おわり

り、滞納されている方々がおられます。収支決算報告でもお解りのように、皆さんの収められる年会費の大部分は、会報や名簿の作成費、種々の催し物のお知らせのための通信費となっております。未納の方の費用が納入された方の者の負担となっているばかりではなく、連盟の運営にも支障をきたしかねません。

委員総会において問題事項として取り上げられ、1年間滞納された場合には、自然退会扱いとし、会報その他の通信物の送付を中止いたすことになりました。今年度未納の方で加入を続けられる方は会費の納入をお願いします。また、お仕事の都合等で退会される場合には、その旨を事務局まで早めにお申し出下さい。通信物の発送を直ちに中止し、経費の削減をはかりたいと思います。 運営委員会

# ※ねんりんピック'91いわて※

副委員長 新藤 英雄

テニス交流大会は、安比高原テニスクラブで、57都道府県、416名(男283,女133)が参加して、9月22日に予備リーグ戦、23日交歓試合、24日決勝トーナメント戦が行われ、熱戦が展開された。

本年の特長は、往年の名選手(デ杯代表)や男女ともに全日本で活躍したことがあるプレーヤーが顔を揃えたこと、高齢者(男:80歳以上7名、70歳

以上84名;女:70歳以上12名)の参加、特に最高齢者84歳の男性(大阪府)がプレーヤーとして参加し優勝に貢献したこと。女子プレーヤーの監督兼務が3県(静岡、愛知、和歌山)あったこと。そして、予備リーグ戦57試合中、3-0が23試合(40%)と多かったこと等が上げられます。

さて、仙台チームは、2-0とよく健闘したが勝率で、宮城県チームも健闘したが僅かに及ばず、0-2となって、残念ながらともに決勝トーナメント戦に進出出来ませんでした。試合の結果は次のとおりです。

## <予選リンクリーグ戦>

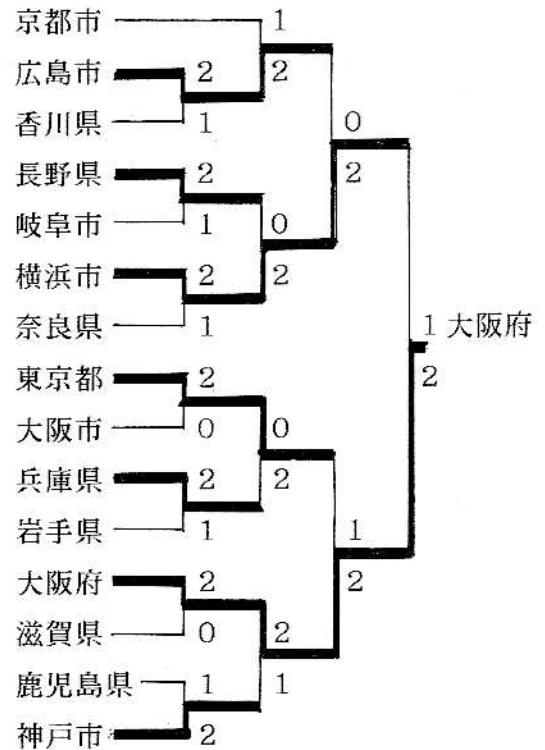
### 2組

|     | 兵庫県 | 埼玉県 | 仙台市 | 鳥取県 | 勝敗  | 順位 |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|----|
| 兵庫県 |     | 3-0 |     | 3-0 | 2-0 | 1  |
| 埼玉県 | 0-3 |     | 1-2 |     | 0-2 | 3  |
| 仙台市 |     | 2-1 |     | 3-0 | 2-0 | 2  |
| 鳥取県 | 0-3 |     | 0-3 |     | 0-2 | 4  |

### 8組

|      | 広島市 | 宮城県 | 佐賀県 | 和歌山 | 勝敗  | 順位 |
|------|-----|-----|-----|-----|-----|----|
| 広島市  |     | 3-0 |     | 3-0 | 2-0 | 1  |
| 宮城県  | 0-3 |     | 1-2 |     | 0-2 | 4  |
| 佐賀県  |     | 2-1 |     | 0-3 | 1-1 | 3  |
| 和歌山県 | 0-3 |     | 3-0 |     | 1-1 | 2  |

## <決勝トーナメント戦>



## ☆シリーズ

### 「より楽しいテニスを」

#### No.8 「もう一度ラケットについて考えよう」

高橋 龍夫

「会報No.11」で、我々壮年テニスプレーヤーの為の「お薦めラケット」は「大きめ」「厚め」「軽るめ」の「三めラケット」であると書きました。「大きめ」「厚め」ラケットの利点については、前号で書きましたので、今回は「軽るめ」から始めましょう。

世界のトッププレーヤーの座に君臨しているエドベリやベッカー達が、時速200kmに近い猛烈なサーブを打ったり、ボールが割れそうなスマッシュを観覧席に叩き込んだりしているのをTV等でご覧になり、彼らの使用しているラケットはさぞや重くて特別の仕様により作られていると考えておいての方もいるかと思いますが、ところが、彼ら、彼女らのほと

んどが、一般に市販されているラケットと同種のものを使用していると聞かれたら驚かれることでしょう。

そして、ラケットの重さも我々が使用しているものとさほど差がないとしたらどうでしょうか。身長が190cmを越し、筋肉トレーニング等で鍛え抜いた身体を持つ彼らと同じ重さのラケットを、我々壮年のプレーヤーが使用することには賛成出来ません。Y社のカタログによりますと、一般成人用に市販されているラケットの重量は305g~380gの範囲であり、これにストリングスが張られるので10g前後の重量増となります。

皆さんの使用されているラケットの重量は、男性で350~360g、女性で330~350gのようです。この値は一般の男女プレーヤーの使用ラケット

とほとんど変わりません。「もう少し軽いラケットを使ったらいかがですか」と申しますと、「軽いラケットだと、強いボールや速いボールにたいしてラケットが弾かれてしまいそうで」とか「いくら強く打とうとしても、軽いラケットではボールが飛んでくれない」とか、中には「軽すぎるとラケットを振り過ぎる????」などと言われる方がおられます。軽いラケットに換えた時、「弾かれる」、「ボールが飛ばない」という感じを持たれる方が多いようです。私自身にもこの様な経験があります。この現象は、単にラケットの軽さが直接の原因ではないようです。ラケットを軽く作る目的の一つは、ラケットを振り易くするため、言い換えれば、ラケットを振るスピードを増すためなのです。この理由から、軽いラケットはトップライトに作られる傾向にあります。したがって、ラケットのスウィートスポットの位置が少し下方に移っているのです。しかし、ラケットはかわっても同じ人が同じ感覚でボールを打つ訳ですから、当初はどうしてもスウィートスポットを外し気味にボールを打ってしまいがちです。この結果、「弾かれてしまう」「ボールが飛んでくれない」といった感じになってしまうようです。慣れるまで我慢をして練習するか（慣れるに要する期間は個人差があります。そして、慣れるということは、従来の自分の打ち方を変えなければならないことでもあります）あるいは、バランサー（鉛板で出来ており、市販されている）を付けて、スウィートスポットの位置を元のラケットの位置に近づける処置をすればいい訳です。が、一番にお勧めするのは、今、使用しているラケットと同じ種類で1ランク軽いものを購入することです。場合によっては、2ランク軽いものでも結構です。同じ種類のラケットですと、スウィートスポットの位置の変化も少なく、前と同じ感覚でボールが打てます。メーカーによって、少しの差はありますが、1ランクの差は、10~15gです。2ランク軽くしても、ラケット全体では7~8%の重量減に過ぎませんが、振ってみますと、これがラケットかと思える程に振り易く、また、手に掛かる負担が小さくなっていることに気付かれると思います。スウィートスポットを外さない限り、「弾かれる」「飛ばない」ことはありません。「振り過ぎてしまう」という心配は、よく理解できません。サービスにしる、ストロークにしる、速くて、強力なボールを打つには、いかにしてラケットを振るスピードを増すかにかかっている訳で（ラケットスピード=腕の振りの速さ、ではありません）、ラケットのスピード増加は、その人のテニスにとっ

てプラスにこそなりますがマスナスの要因にはなりません。ただ、前の重いラケットと同じ感覚で、軽いラケットを振るとしたら、そこには、若干の違和感が生じるのは自然の理です。

外国製のものもありますが、国産のメーカーY社では、フレームの重量が、260~280gというまるで軟式ラケット並の硬式ラケットが市販され始めました。全日本ベテランテニス選手権大会でも、この種のラケットを使用して活躍している選手を見かけましたし、宮城県壮年テニス連盟の女性の方でこのラケットをうまく使われておられるのを見かけております。ちなみに、私の使用しているラケットはY社製のもので、大きさは107in<sup>2</sup>（110in<sup>2</sup>のデカラケとほぼ同じ大きさ）、重量はUSL（305~320g）です。男性の皆さんが使用されているラケットよりも軽くはありませんか。ご自分の使用されているラケットの重量を計ってみて下さい。私は、このラケットで試合をしても、「弾き飛ばされる」「ボールが飛ばない」という経験はありません。三年前までは1ランク上のSL（321~335g）のものを使用しておりましたが、今のラケットに換えたとき、腕にかかる負担が非常に小さくなると同時に、サーブのスピードが増したのを憶えております。同種類でもう1ランク下のものは製造されておりませんので、今後使うラケットを物色中です。ゆくゆくは、200g台のラケットの使用を考えております。

さて、メーカーの試打会で試し打ちをしたり、友人のラケットを借りて暫時打っただけで、このラケットは自分に向かないなどとすぐに結論を出されてはいませんか。種類のことなるラケット、重さの異なるラケットで納得のゆくボールが打てるようになるためには、ある期間が必要なのです。「新しいラケットが発売される度に購入してみるが、結局、自分にあったラケットが見付からなくて」と嘆いたり、折角、素敵なラケットを購入しても、暫く使っただけで、また、元のラケットを使用されている方々は、「慣れるに必要な時間」を十分に用意されていなかったようです。

「肘に負担をかけないで、テニスエルボーにならない」ためにも、「翌日に疲れを残さない」ためにも、「今までよりも素晴らしいショットを打つ」ためにも、そして、「明日のテニスが待ち遠しい」と思うようになるためにも「三めのラケット」の使用をお勧めします。ただし、「弛まない練習」の伴わない「三めラケット」の効果は保証いたしかねます。ラケット購入に不安のある方は遠慮なくご相談下さい。

## ■ 第1回 「東北シルバーテニス交流大会」 ■

—宮城県団体優勝—

昨年秋、ブレねりんピック岩手大会(東北地区大会)が開催されて以来、宮城県テニス協会ベテラン委員会と宮城県壮年テニス連盟とで準備を進めてきました第1回「東北シルバーテニス交流大会」が9月2日、3日の両日にわたり、グリーンピア岩沼で開催され、宮城県が団体優勝しました。

この大会は、ねりんピックの趣旨をふまえて開催されるもので、東北のシルバーエイジのプレーヤーが相集い、ゲームを競い合うと同時に、お互いの親睦をはかり、共に健やかにプレー出来る喜びを分かち合うためのもので、来年以降も開催される予定です。今大会は東北シルバーテニス交流大会推進協議会(構成:秋田県シニアテニス同好会、山形県ベテランテニスクラブ、いわきベテランテニスクラブ、宮城県壮年テニス連盟)が主催し、東北電力、七十七銀行、ダンロップテニス、ブリジストンスポーツの各社から協賛をいただきました。

試合は、男子3種目(60歳以上、65歳以上、70歳以上のダブルス)、女子2種目(55歳以上、60歳以上のダブルス)について、予選リーグおよび決勝リーグ戦を行って順位を決定する個人戦形式で進められ、個人戦の成績をもとにして、県別の団体順位が決められました。初めての大会でしたが、他県の世話人の方々の協力を得て、90名もの選手が参加し、好天にもめぐまれて、無事、成功裡に終了しました。

本大会での当連盟会員の活躍ぶりは素晴らしく、男子60歳以上で、中村\*神松組が優勝、小野\*山本組が2位、70歳以上で、新藤\*武田組が2位、上山\*瀬野尾組が3位、女子60歳以上では、奥井\*吉田組が優勝、菊田\*今野組が2位、庄司\*桜井組が3位にそれぞれ入賞されました。 山内 宏

### ■東北シルバーテニス交流大会こぼれ話■

何しろ初めての大会でありまして、また、参加された選手の中には、遠征をし、他県の人達と公式に試合をしたのが生まれて初めてという方々もおおいになったせいか、予期せぬハプニングが沢山ありました。参考にもなりますのでその中から一例をご紹介します。

試合は予選リーグ、決勝リーグ共に1セットマッチで行いました。各試合は、総てセルフジャッジ制とし、勝者がスコアを届けるといふ当連盟の皆さんにはお馴染みの方法でした。とある試合を終えた勝組が本部にスコア6-5と申請しました。しばらくして、敗組の選手が本部に思えききってとんできて、「1セットマッチなのに、スコアが5-6となった時、相手から試合終了といわれ、帰ってきましたが、本当はまだ終了していないのではないですか試合を続けさせて下さい。」という申し出をしまし

## ■宮城県シルバーテニス交流大会■

に先ず参加を

山内 宏

「ねりんピックテニス交流大会」および「東北シルバーテニス交流大会」への参加選手の選考については、関係委員会において、「宮城県シルバーテニス交流大会に参加した選手の中から選考することが原則」とされております。

日頃よりテニスを楽しみ、腕を磨いておられる会員諸氏の方々、奮ってご参加下さい。次年度の開催要項は、決まり次第、お知らせ致します。

## ■第53回 全日本ベテランテニス選手権大会■

当連盟より7選手が参加

10月20日より、東京の昭和の森で開催されました、第53回全日本ベテランテニス選手権大会には、宮城県壮年テニス連盟より7名の会員諸氏が参加し、夫々の種目で活躍されました。この大会に参加するためには、関東オープン、関西選手権、全日本ローンコート選手権、毎日トーナメントおよび北海道、東北、北信越、中四国、九州の各選手権において優勝等の好成績を残すことが必要です。当連盟の7氏のほとんどは、今年度の東北ベテランテニス選手権大会で優勝された実績から出場権を得られたものです。全日本大会出場資格を得るために、東京や関西方面から多数の優秀なプレーヤーが東北大会を目指して来たなかで、これら強豪を倒しての快挙でした。過去において、東北地方全体でも7名が一度に参加した例はありません。当連盟5年間の成果の一部が表われたものと思われます。次に参加者および種目名を紹介いたします。

| 種目     | 選手      | 氏名      |
|--------|---------|---------|
| 女子50歳D | 斎藤 久仁子* | (辻 由美子) |
| 男子65歳D | 久保 寿一*  | 室賀 創    |
| 男子60歳D | 中村 克宏*  | 神松伊三郎   |
| 男子50歳D | 安田 勇 *  | (加藤 精一) |
| 男子50歳S | 高橋 龍夫   |         |

→ た。レフェリーの判定は次のようでした。「確かに、1セットマッチですから、通常、5-6では試合は終了いたしません。5-7になるか、あるいは、ゲームデュースになった場合には、どちらかが2ゲームの差をつけるまで、例えば、6-8とか7-9まで試合をしなければなりません。しかし、経過はともあれ、いつか、両者が試合の勝ち負けをお互いに認めあい、終了の握手をしたわけですから、この時点で試合は終了したことになります。この場合の扱いは、スコア6-5で敗者が途中リタイアということになります。」でした。試合終了の握手はスコアをしっかりと確かめたうえで、笑顔でしましょう。

## ◆ 会員異動

会報No.11の発行以後次の一覧表に記載されております方々が入会されましたのでご紹介いたします。また、飯淵武、岡本朝香、川股重也、早川博文、早川陽子、竹内煉一、竹内道子、小田島政勝、小田島美代子、斎藤慎二、斎藤康代、三木武吉、三木和子、佐々木京子、中村利子、池田長、池田章子の各会員諸氏は転勤その他の事由で退会されました。会員総数は340名であり、その内訳は、男子 200名、女子 104名、家族 67組です。

| 月日   | 氏名     |
|------|--------|
| 3/31 | 桜井千枝子  |
| 3/31 | 石橋りつ子  |
| 4/1  | 佐藤勝子   |
| 4/28 | 山口一幸   |
| 5/2  | 大坂敏子   |
| 5/1  | 大村純彦   |
|      | 大村房子   |
|      | 首藤久子   |
| 5/9  | 岩井隆太郎  |
| 5/10 | 加藤りつ子  |
| 5/11 | 太田真利子  |
| 5/15 | 阿蘇正二   |
|      | 岩月矩之   |
|      | 加賀泰彦   |
|      | 加賀幸子   |
|      | 三浦幹雄   |
|      | 三浦久恵   |
| 5/20 | 中川和子   |
|      | 深谷実健一  |
| 5/24 | 安孫子喜子  |
|      | 安孫子良枝  |
| 5/25 | 佐藤良枝   |
| 5/28 | 小野寺盛雄  |
|      | 小野寺江   |
| 6/30 | 後藤勝弘   |
| 7/3  | 山中清子   |
|      | 橋本真紀子  |
| 7/3  | 増田高行   |
| 7/5  | 阿部秀子   |
| 7/24 | 虹川正弘   |
| 8/6  | 中塚勝人   |
| 8/19 | 清水川千恵子 |
| 8/23 | 浅野隆郎   |
| 9/3  | 太郎丸幸子  |
|      | 高橋孝男   |
| 9/4  | 石垣晴子   |
| 9/17 | 小原浩    |
| 9/24 | 伊藤敏子   |
| 10/1 | 坂田正雄   |
| 11/1 | 児玉諭    |
|      | 児玉洋子   |

会員総数 340名 男子 200名 女子 140名 家族 67組 (12/7 委員総会報告)

★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★

## == お知らせ ==

### ＊ ＊ 室内ダブルスを楽しむ会 ＊ ＊

下記の要項により、平成4年度室内ダブルスを楽しむ会を二回にわたり開催いたします。会場はキリンSC（広丁レンタルコート）です。奮ってご参加下さい。

#### 第1回 室内ダブルス

期日・時間：1月15日 9:00～18:00

会費：2500円/人

参加人員：36名

#### 第2回 室内ダブルス

期日・時間：2月11日 9:00～18:00

会費：2500円/人

参加人員：36名

実施内容：両回とも概ね技量別に分れてダブルスゲームを楽しみます。

参加申込：必ずハガキで、ペアのいる方は連名で申し込んで下さい。締め切り日は両回ともに1月8日です。申込順とし、第1回目に参加できなかった方は第2回目に優先して参加出来ます。両回ともに参加希望の方は、同一のハガキで申込が出来ます。参加出来る方には前日までに何らかの方法でご連絡致します。

編集発行 宮城県壮年テニス連盟運営委員会